

【研究開発の名称】医学的エビデンスに基づいた、病気を治療する治療用アプリケーションの開発(対象疾患:ニコチン依存症)(2014年度採択課題)

■ 開発の経緯・概要

- 医療情報科学での研究で、臨床現場でICTを活用することで、治療用アプリケーションが、これまで治療介入が不十分であった疾患に対しても治療効果を持つことが、臨床研究レベルで証明されはじめている。
- 中でも、ニコチン依存症に対する介入が治療効果が強く期待されるというエビデンスは多く存在している。
- 最新医学エビデンスとテクノロジーを融合させることによって、人の行動変容を促す疾患治療用ソフトウェアを作り出し、日本初の「治療アプリ」の臨床応用および事業化を目指す。

■ 現状の成果

- 慶應義塾大学病院などでの臨床試験にて既にエビデンス創出
- 2017年10月に日本で初となるアプリで治験を実施
- 治験終了後、来年薬事申請を経て、日本初の治療アプリの承認・保険適用を予定
- 「CureApp禁煙」は、システム治療アルゴリズムで2017年3月31日特許取得



■ 会社概要

	設立時 2014年7月	採択時 2015年1月	現在 2018年6月
資本金	3百万円	3百万円	100百万円
従業員数	2人	3人	29人

■ I-Challenge!活用による成果

【PoCの成果】

- α版の開発及びリリース、医療機関での試験導入を行うことによって、医療従事者や患者側へのヒアリングを行いUIを改善、他疾患アプリケーションとの連携を見据えた汎用性や利用者個人に最適化を図ることができた。

【I-Challenge! ここがすごい!】

- 創業間もない時期に、本事業の可能性を見出していただいたことに感謝しています。
- 数千万円単位の補助金支援をいただけたおかげで、製品開発加速・PoC検証まで進んだ。

【事業化支援機関からの支援内容】

[事業支援機関:トーマツベンチャーサポート(株)]

- 特許申請に関わるグローバル特許調査、およびコンサルティング
- 顧客開発、および事業広報に繋がるイベント登壇、ネットワーク支援